

**(12) 健康教育研究センター****① 設置の趣旨（目的）及び組織****ア 組織設置の趣旨（目的）**

健康教育研究センターは、学校及び地域社会を対象とする健康教育の実践に関する諸課題の研究を推進し、健康教育の改善、充実及び発展に寄与することを目的として、令和2年4月1日に設立された。

**イ 組織の構成及び構成員等**

組織は、センター長1名、兼務教員の教授2名及び准教授2名で構成され、事務は研究連携課が担当している。

**② 運営・活動の状況**

初年度の活動として、大学HP内にセンター概要を掲載した。所属教員による健康教育に関する活動（教育、研究、地域連携活動）は上越地域を中心に実施されているが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止・中断された活動もあった。特に、開設記念シンポジウムを企画していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため企画を中止することとなった。

**③ 優れた点及び今後の検討課題等**

本センター所属の池川茂樹准教授による「マスク着用が熱放散能に及ぼす影響と運動・活動時の熱中症リスク低減マスクの開発に関わる実証研究」の研究成果に基づき、スポーツメーカーのオンヨネ株式会社が熱中症リスク軽減マスクを開発したこと等は、本年度の産学連携研究の成果として優れている点である。

今後の検討課題としては、センターHPの充実とともに、今年度中止となった開設記念シンポジウムを令和3年度に実施することである。